



Siena TSP-AN SERIES TSP122-AN/TSP152-AN/TSP118B-AN

2,500 Watt 2 Way Full Range Powered Loudspeakers 3000 Watt Powered
Subwoofer Klark Teknik DSP Technology and ULTRANET Networking

JP

JP 安全にお使いいただくために



注意
 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

注意
 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかかるないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
 このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触ると感電の恐れがあります。

注意
 取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

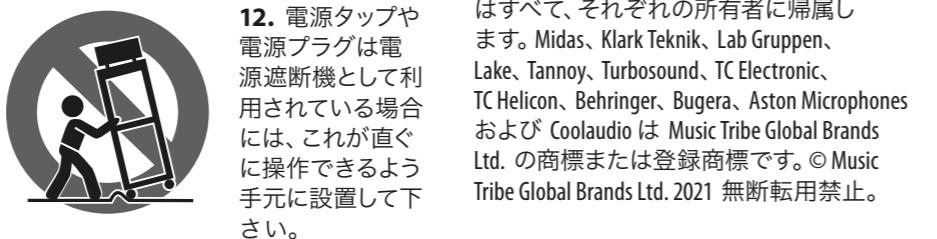
注意
 1. 取扱説明書を通してご覧ください。
 2. 取扱説明書を大切に保管してください。
 3. 警告に従ってください。
 4. 指示に従ってください。
 5. 本機を水の近くで使用しないでください。
 6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
 8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

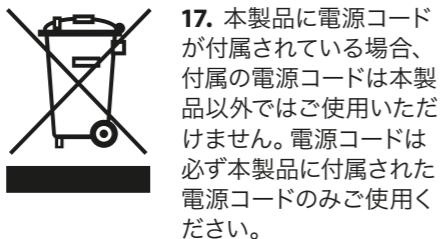


13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



アプリケーションに Turbosound スピーカー製品をお選びいただきありがとうございます。この製品またはその他の製品の詳細については、当社の Web サイト turbosound.com をご覧ください。

スピーカーの開梱

開梱後、破損がないかよくご確認ください。損傷が見つかった場合は、すぐにサプライヤーに通知してください。荷受人であるあなたは、いかなる請求も扇動しなければなりません。将来の返送に備えて、すべてのパッケージを保管してください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

コントロール



- ① **LCD SCREEN** 現在の DSP モジュールとパラメータ設定を表示します。
- ② **ENCODER KNOB** グラフィックモードと編集モードを切り替え (押すと)、パラメータ値を変更します (回転すると)。
- ③ **PROCESS** ボタンは DSP 处理モジュールをステップスルーします。
- ④ **SETUP** ボタンは、DSP 处理モジュール内のパラメーターをステップスルーします。
- ⑤ **ENTER** ボタンを押すと、変更が保存され、編集モードが無効になります。
- ⑥ **EXIT** ボタンを押すと、最上位の DSP 画面に戻ります。
- ⑦ **USB** 接続により、ファームウェアの更新とコンピューターを介したパラメーターのリモート制御が可能になります。お使いのコンピューター用の DSP 制御ソフトウェアをダウンロードするには、turbosound.com にアクセスしてください。
- ⑧ **ULTRANET THRU** 未処理のデジタルオーディオを **ULTRANET IN** コネクタから追加の ULTRANET 搭載デバイスに送信します。

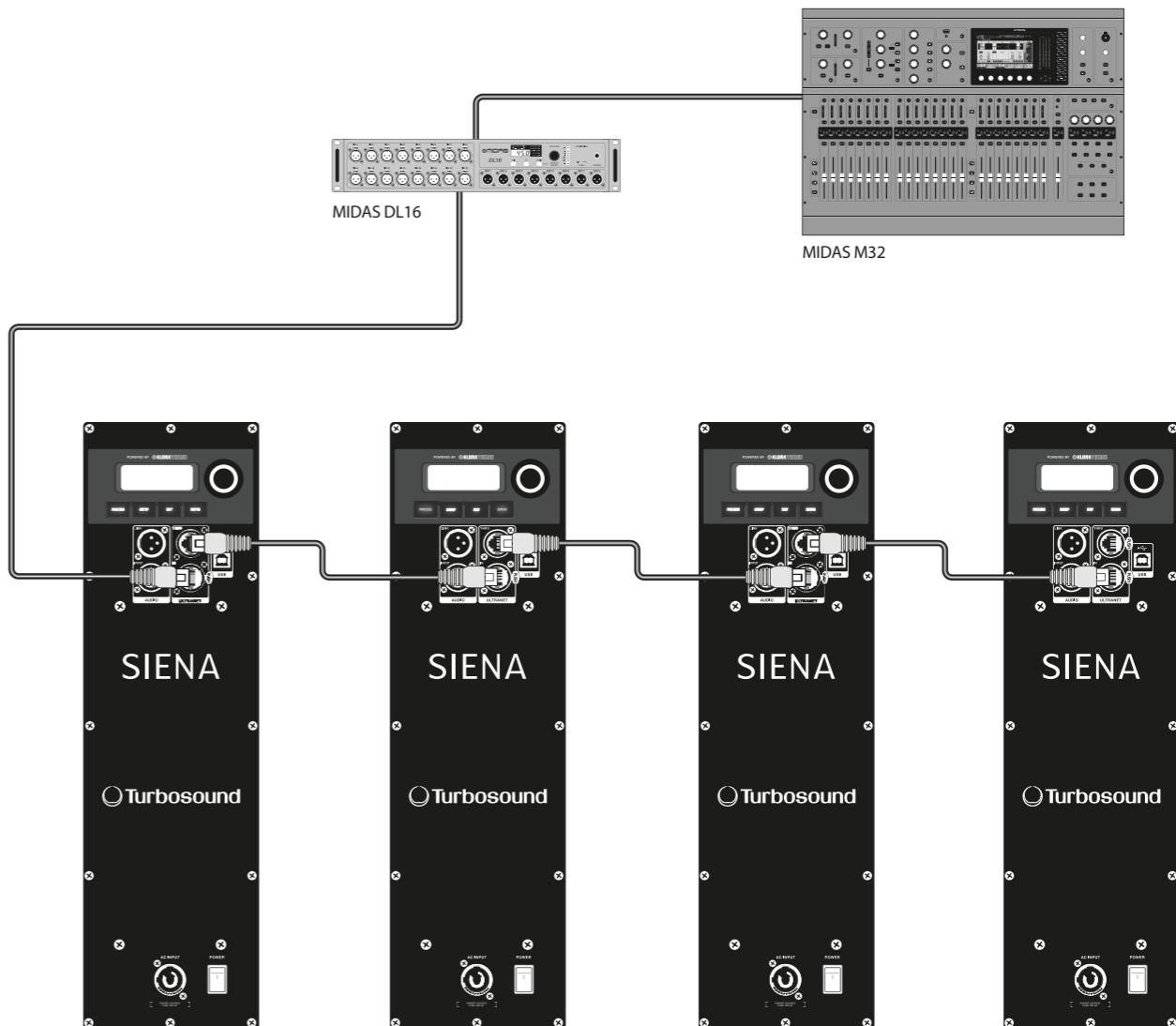
- ⑨ **ULTRANET IN** 追加の ULTRANET 搭載デバイスに接続するための RJ45/Neutrik etherCON ジャック。
- ⑩ **AUDIO LINK XLR** コネクタは、AUDIO INPUT 信号の未処理のコピーを提供します。
- ⑪ **AUDIO INPUT** コンポジットは、XLR、バランス型 1/4" TRS、またはアンバランス型 1/4" TS コネクタを使用して入力信号を受け入れます。
- ⑫ **POWER** スイッチはユニットのオンとオフを切り替えます。
- ⑬ **AC INPUT** Neutrik powerCON ツイストロックコネクタが取り付けられた電源ケーブルからの電源接続を受け入れます。

ネットワーク機能

すべての TSP-AN パワードスピーカーは、USB 経由でリモートコントロールを提供します。USB 接続により、ユーザーは PC 専用の制御ソフトウェアを使用してすべての DSP パラメーターを構成および監視できます。

DSP フームウェアは、USB 接続を介して更新することもできます。最新のファームウェアバージョンについては、turbosound.com にアクセスしてください。

TSP-AN スピーカーは、RJ45 コネクタ付きの CAT5 ケーブルを使用した **ULTRANET IN** および **THRU** 接続を通じて、独自の ULTRANET ネットワーキング機能も提供します。ULTRANET を使用すると、ユーザーは、TSP-AN システム、およびデジタルミキサー/パーソナルモニターシステムなどの他の ULTRANET 搭載デバイス全体で、最大 16 の独立した 24 ビットオーディオチャネルを一方向に送信できます。1 本の ULTRANET ケーブルで最大 7 台のデバイスを直列に接続できます。



TSP-DSP メニュー構造

| フルレンジ | サブウーファー | 関数 |
|-------|--|----------------------------|
| | | 無し 無し 周波数応答をデフォルト設定に設定します。 |
| | 住む 住む 周波数応答をに設定します 典型的なライブサウンド設定。 | |
| | スピーチ スピーチ 音声明瞭度を最適化するための周波数応答を設定します。 | |
| | 再生 再生 音楽の再生に最適な周波数特性を設定します。 | |
| | ユーザー ユーザー 対応するサブメニューに入ると、独自の周波数応答設定を定義できます。 | |
| | 低/高棚 低/高棚 低シェルビングフィルターと高シェルビングフィルターを定義できます。 | |
| | パラメトリック1 & 2 パラメトリック1 & 2 パラメトリックペルタイプのEQ(周波数、品質、ゲイン)を定義できます。 | |
| | 無し - ユニットはデフォルトのフルレンジ/サブウーファー再生用に設定されています。 | |
| | HP 120 Hz LP 120 Hz サブウーファーとフルレンジスピーカー間のクロスオーバー用に120Hz 24dB/オクターブフィルターをプリセット。 | |
| | HP 100 Hz LP 100 Hz サブウーファーとフルレンジスピーカー間のクロスオーバー用に100Hz 24dB/オクターブフィルターをプリセット。 | |
| | - TSP122 TSP122 フルレンジスピーカーと組み合わせて使用するのに理想的な設定のプリセット。 | |
| | - TSP152 TSP152 フルレンジスピーカーと組み合わせて使用するのに理想的な設定のプリセット。 | |
| | TSP118B - TSP118B サブウーファー用のハイパスアライメントのプリセット。 | |
| | ユーザー ユーザー 他のフルレンジまたはサブウーファースピーカーシステムと組み合わせるためのユーザークロスオーバーサブメニュー | |
| | 周波数 周波数 目的のクロスオーバー周波数を選択します。フルレンジシステム: 75Hz ~ 400Hz サブウーファーシステム: 50Hz ~ 150Hz | |
| | 段階 段階 絶対位相を調整します(0°または180°)。 | |
| | 自動 自動 必要な数のフィルターを自動的に設定します。新しいフィードバック周波数が検出されると、最初のフィルターが解放されて新しい周波数が減衰します。 | |
| | シングル シングル 最大8つのフィードバックフィルターであるFBQ(フィードバック検出)機能をアクティブにします | |
| | 学ぶ 学ぶ 8つのフィルターすべてが設定された後、フィードバック周波数を検索して設定をロックする自動手順。警告! この間、耳の保護具を使用してください手順。フィードバック信号はシステムの最大レベルに近づき、難聴の原因となる可能性があります! | |
| | リセット リセット すべてのフィルターをリセットします。 | |
| | 入力 入力 オーディオ入力ソースを選択できます。ローカル(アナログ入力)またはULTRANET(P16モニタリングシステムまたはULTRANET経由のM32オーディオなど)から選択します。 | |
| | ボリューム ボリューム 入力ゲインを調整します。+10dBから-30dBの範囲のULTRANETデジタル入力を使用。0dB ~ -∞dBのアナログ入力の場合。 | |
| | 感度 感度 アナログソースを使用する場合に最大出力になるように入力感度を調整します。通常の操作では+4dBu、高レベル入力では+14dBuです。 | |
| | スタンド 床 スピーカーをポールマウントスタンド(フルレンジ)または床(サブウーファー)に配置します。 | |

| フルレンジ | サブウーファー | 関数 |
|-------|-------------------|---|
| | 壁 壁 | スピーカーを壁の上または隣に配置するため(固定設置)。あるいは、モニタースピーカー(ウェッジ)として。 |
| | 天井 - | スピーカーを天井の隣の壁に配置するため(固定設置)。 |
| | コーナー コーナー | スピーカーを天井の隣の隅に配置するため(固定設置)。スピーカーをコーナー(サブウーファー)に配置します。 |
| | ディレイ ディレイ | 遅延の量を調整します(最大300ミリ秒=103.08mまたは338.19フィート)。 |
| | 単位 単位 | ミリ秒、メートル、フィートの間のセレクター。 |
| | 制限 制限 | 入力信号のリミッターシーケンス値を調整します(0FFから-30dBまで)。このしきい値調整により、スピーカーシステムの定格最大出力を下回る最大出力電力を設定できます。 |
| | バージョン バージョン | インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。 |
| | 1.20. 1.20. | 特定のプリセットをロードするには、エンコーダーを回して目的のペセットの番号を選択してから、ENTERボタンまたはエンコーダーのいずれかを選択します。確認を求められたら、エンコーダーをもう一度押すか、終了して中止します。 |
| | 1.20. 1.20. | プリセットを保存するには、それぞれのプリセットスロットを選択し、ENTERまたはエンコーダーを押します。 |
| | プリセットを保存 ブリセットを保存 | エンコーダーで文字を選択し、を押して各文字を確認することにより、ブリセットに名前を付けます。終了したら、ENTERボタンを押してブリセットを保存します。 |
| | コントラスト コントラスト | LCDパネルのコントラストを調整します。デフォルトのコントラスト値は15です。 |
| | 画面 画面 | オン: LCDスクリーンセーバー(デフォルト)は、約30秒後に自動的にオンになります。2分。オフ: LCDは約30秒後に自動的にオフになります。5分。 |
| | ロゴ ロゴ | OFF: フロントパネルのロゴ照明を無効にします。オン: フロントパネルのロゴ照明をアクティブにします。LIMIT: リミッターアクティブになるとロゴが点灯します。 |
| | ロック ロック | デバイスをロックし、エンコーダーでパスワード文字を選択し、を押して各文字を確認することにより、パスワードを作成します。終了したら、ENTERボタンを押します。パスワードを入力するか、USB経由で専用のリモートソフトウェアを実行しているPCにユニットを接続して、デバイスのロックを解除します。ソフトウェアパスワードは必要ありません。 |
| | 警告 警告 | 過熱した場合、LCD画面にアラートが表示され、ユニットが冷えるまでアンプがシャットダウンします。 |

LCD グラフィックインジケーター

パラメータが選択され、初期のデフォルト設定から変更されたことをユーザーがすぐに認識できるように、トップレベル画面のパラメータの関連テキストが反転し、白い背景の黒いテキストに変わります。例として、次のスクリーンショットは、TSP-AN のデフォルトの EQ 設定が変更されたときに EQ 機能のテキストがどのように変化するかを示しています。



このインジケータ機能は、メインの DSP メニューレベルでのみ発生し、トップレベルの SETUP メニューの 2 ページ目の LOAD, SAVE、および SETUP サブセクションを除くすべての DSP 関連機能で機能します。

取り付けと固定

TSP-AN フルレンジシリーズキャビネットは、恒久的な設置で考えられる多くの取り付け方法に適合するように、複数の内部リギングポイントを備えて設計されています。

アイボルトで一時停止

TSP-AN キャビネットは、上部、下部、側面、および背面にある内部リギングポイントに結合されたオプションのアイボルトを使用して吊り下げるることができます。最も簡単な方法は、上部の 2 つのリギングポイントと、背面パネルの中央にある 1 つのブルバックリギングポイントを使用することです。

適切な皿ネジを取り外し、肩付きアイボルトと交換します。ショルダーアイボルトのネジの長さは 18 mm 以上である必要があります。後部のリギングポイントを使用してキャビネットに角度を付け、部屋を最適にカバーします。必要に応じて、キャビネットを逆さまに吊るすことができます。

重要な注意点: 恒久的に設置されたサウンドシステムの取り付けは、必要なタスクを実行するために必要な経験と認定を受けた資格のある担当者が行わない限り、危険な場合があります。壁、床、または天井は、実際の荷重を安全かつ確実に支えることができなければなりません。使用する取り付けアクセサリは、スピーカーと壁、床、または天井の両方に安全かつ確実に固定する必要があります。

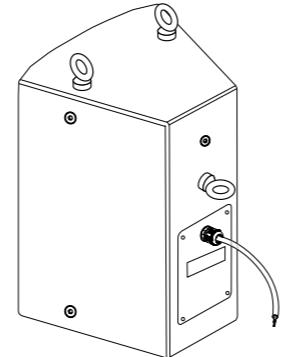
リギングコンポーネントを壁、床、または天井に取り付けるときは、使用するすべての固定具と留め具が適切なサイズと定格荷重であることを確認してください。壁と天井のクラッディングおよび壁と天井の構造と構成はすべて、特定の固定配置を特定の負荷に対して安全に使用できるかどうかを判断する際に考慮する必要があります。キャビティプラグまたはその他の特殊な固定具は、必要に応じて適切なタイプである必要があり、メーカーの指示に従って取り付けて使用する必要があります。

フライングシステムの一部としてスピーカーキャビネットを操作すると、正しく取り付けられていないと、深刻な健康上のリスクにさらされたり、死亡する可能性があります。さらに、設置または飛行の前に、電気的、機械的、および音響的な考慮事項について、資格のある認定された（地方の州または国の当局による）担当者と話し合うようにしてください。

スピーカーキャビネットは、ユニットに付属の専用機器と元の部品およびコンポーネントを使用して、資格のある認定された担当者のみがセットアップおよび飛行するようにしてください。不足している部品やコンポーネントがある場合は、システムのセットアップを試みる前に販売店に連絡してください。

お住まいの国で適用される地域、州、およびその他の安全規制を必ず遵守してください。同封の「サービス情報シート」に記載されているミュージックグループの会社を含むミュージックグループは、製品の不適切な使用、設置、または操作に起因するいかなる損害または人身傷害についても責任を負いません。システムが安全で安定した状態に保たれていることを確認するために、資格のある担当者が定期的にチェックを行う必要があります。スピーカーが飛んでいる場所では、スピーカーの下の領域に人の往来がないことを確認してください。一般の人が立ち入りまたは使用できる場所にスピーカーを飛ばさないでください。

スピーカーは、動作していない場合でも磁場を生成します。したがって、このようなフィールドの影響を受ける可能性のあるすべての資料（ディスク、コンピューター、モニターなど）は安全な距離に保管してください。安全な距離は通常 1~2 メートルです。



技術仕様

| | TSP122-AN | TSP152-AN | TSP118B-AN |
|--------------------------|--|--|--|
| システム | | | |
| 周波数応答 | 50 Hz – 18 kHz ±3 dB 43 Hz – 20 kHz -10 dB | 41 Hz – 18 kHz ±3 dB 35 Hz – 20 kHz -10 dB | 35 Hz – 90 Hz ±3 dB 32 Hz – 100 Hz -10 dB |
| 公称分散 | 70° H x 50° V @ -6 dB ポイント | 70° H x 50° V @ -6 dB ポイント | 半空間 |
| 最大 SPL | 133 dB ピーク | 133 dB ピーク | 134 dB ピーク |
| クロスオーバータイプ | アクティブ | アクティブ | アクティブ |
| トランステューサー | 1 x 12" (316 mm) LF ドライバー 1 x 1" (25.4 mm) HF 圧縮ドライバー | 1 x 15" (394 mm) LF ドライバー 1 x 1" (25.4 mm) HF 圧縮ドライバー | 1 x 18" (460 mm) LF ドライバー |
| リミッタ | 独立した HF、LF、 ピーカおよび rms | 独立した HF、LF、 ピーカおよび rms | 独立した LF、ピーカ、および rms |
| 増幅器 | | | |
| 最大出力電力* | 2500 W | 2500 W | 3000 W |
| タイプ | クラス D | クラス D | クラス D |
| 保護 | 短絡、熱 | 短絡、熱 | 短絡、熱 |
| コネクタ | | | |
| 入力/リンク | 1 x コンポジタ/XLR、1 x XLR | 1 x コンポジタ/XLR、1 x XLR | 1 x コンポジタ/XLR、1 x XLR |
| 感度 | +4 dBu または +14 dBu ソフトウェア切り替え可能 | +4 dBu または +14 dBu ソフトウェア切り替え可能 | +4 dBu または +14 dBu ソフトウェア切り替え可能 |
| 入力インピーダンス | 40 kΩ バランス | 40 kΩ バランス | 40 kΩ バランス |
| 最大入力レベル | +22 dBu | +22 dBu | +22 dBu |
| ウルトラネット入力/リンク | 2 x RJ45 | 2 x RJ45 | 2 x RJ45 |
| 主電源 | Neutrik powerCON 20A† | Neutrik powerCON 20A† | Neutrik powerCON 20A† |
| コントロール | | | |
| DSP | ロータリーブッシュエンコーダーと レベル制御 プロセス、セットアップ、終了、入力 のボタン | ロータリーブッシュエンコーダーと レベル制御 プロセス、セットアップ、終了、入力 のボタン | ロータリーブッシュエンコーダーと レベル制御 プロセス、セットアップ、終了、入力 のボタン |
| ユーザー DSP 機能 | | | |
| 工場出荷時の EQ プリセット | ポジショニング、サウンドモード、FBQ | ポジショニング、サウンドモード、FBQ | ポジショニング、サウンドモード、FBQ |
| 表示 | LCD 128 x 32、青、バックライト付き | LCD 128 x 32、青、バックライト付き | LCD 128 x 32、青、バックライト付き |
| ディレイ | 0 ~ 300 ミリ秒 | 0 ~ 300 ミリ秒 | 0 ~ 300 ミリ秒 |
| 平準化 | ハイシェルフ EQ とローチェルフ EQ 2 x パラメトリック EQ | ハイシェルフ EQ とローチェルフ EQ 2 x パラメトリック EQ | ハイシェルフ EQ とローチェルフ EQ 2 x パラメトリック EQ |
| リミッタ | ゼロアタック入力リミッター | ゼロアタック入力リミッター | ゼロアタック入力リミッター |
| プリセット | 合計 20 のプリセット、 19 のユーザー定義可能 | 合計 20 のプリセット、 19 のユーザー定義可能 | 合計 20 のプリセット、 19 のユーザー定義可能 |
| クロスオーバー | ハイパス LR 24 dB/oct | ハイパス LR 24 dB/oct | ハイパス LR 24 dB/oct |
| 保護 | すべての設定のロックアウト機能 | すべての設定のロックアウト機能 | すべての設定のロックアウト機能 |
| ウルトラネットデジタルネットワーク | | | |
| デジタル処理 | | | |
| A/D 変換 | 24 ビット、44.1/48 kHz サンプルレート | 24 ビット、44.1/48 kHz サンプルレート | 24 ビット、44.1/48 kHz サンプルレート |
| コンバータータイプ | 24 ビット、デルタシグマ | 24 ビット、デルタシグマ | 24 ビット、デルタシグマ |
| システム | | | |
| 信号 | 16 チャンネル | 16 チャンネル | 16 チャンネル |
| レイテンシー | <0.9 ミリ秒 | <0.9 ミリ秒 | <0.9 ミリ秒 |
| 周波数応答 | 20 Hz ~ 20 kHz (+0/-3 dB) | 20 Hz ~ 20 kHz (+0/-3 dB) | 20 Hz ~ 20 kHz (+0/-3 dB) |
| ダイナミックレンジ | 典型的な 92 dB | 典型的な 92 dB | 典型的な 92 dB |
| ケーブル配線 | | | |
| ケーブル | シールド CAT5 | シールド CAT5 | シールド CAT5 |
| ケーブルの長さ | 最大 246 フィート/75 m を推奨 | 最大 246 フィート/75 m を推奨 | 最大 246 フィート/75 m を推奨 |

| | TSP122-AN | TSP152-AN | TSP118B-AN |
|----------------------|---|---|---|
| 電源 | | | |
| 消費電力 | 90 W @ 1/8 最大電力 | 90 W @ 1/8 最大電力 | 180 W @ 1/8 最大電力 |
| 電圧 (ヒューズ) | | | |
| アメリカ / カナダ | 120 V～、60 Hz (T 15 A H 250 V) | 120 V～、60 Hz (T 15 A H 250 V) | 120 V～、60 Hz (T 15 A H 250 V) |
| 英国 / オーストラリア / ヨーロッパ | 220～240 V～、50/60 Hz (T 10 A H 250 V) | 220～240 V～、50/60 Hz (T 10 A H 250 V) | 220～240 V～、50/60 Hz (T 10 A H 250 V) |
| 韓国 / 中国 | 220～240 V～、50/60 Hz (T 10 A H 250 V) | 220～240 V～、50/60 Hz (T 10 A H 250 V) | 220～240 V～、50/60 Hz (T 10 A H 250 V) |
| 日本 | 100 V～、50/60 Hz (T 15 A H 250 V) | 100 V～、50/60 Hz (T 15 A H 250 V) | 100 V～、50/60 Hz (T 15 A H 250 V) |
| エンクロージャー | | | |
| 寸法 (HWD) | 613 x 384 x 340 mm (24.1 x 15.1 x 13.3") | 717 x 443 x 360 mm (28.2 x 17.4 x 14.1") | 693 x 523 x 725 mm (27.2 x 20.5 x 28.5") |
| 正味重量 | 21.5 kg (61.2 ポンド) | 27 kg (61.2 ポンド) | 46.3 kg (61.2 ポンド) |
| 建設 | 18 mm (3/4") バーチ合板 | 18 mm (3/4") バーチ合板 | 18 mm (3/4") バーチ合板 |
| 終了 | セミマットブラックペイント | セミマットブラックペイント | セミマットブラックペイント |
| グリル | 粉体塗装の穴あき鋼 | 粉体塗装の穴あき鋼 | 粉体塗装の穴あき鋼 |
| フライングハードウェア | M10 x 6 ポイント | M10 x 6 ポイント | |
| 付属品 | TSP122-TSP122 用の PC 保護カバー | TSP152-TSP152 用の PC 保護カバー | TSP118B-TSP118B 用の PC 保護カバー |

*リミッターとドライバー保護回路に依存しない

†ACメインコードを変更し、該当するすべての国内規格に準拠できるのは、資格のある担当者のみです。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230Vと120Vの2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国 の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国 がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

